

「行政改革推進市民懇話会」第7回会議の概要

総務部行政改革推進室

- 1 開催日 平成17年3月25日(金)
- 2 会場 市役所5階第2・3委員会室
- 3 会議時間 午後4時開会、午後5時20分閉会
- 4 出席委員 24名
- 5 欠席委員 5名
- 6 市出席者 22名(堂故市長、中田助役、木下収入役、國本企画広報室長、前辻総務部長、横澤市民部長、横山建設部長、飯原産業部長、舟塚教育次長、脇消防長、吉崎企画広報室次長、永田行政改革推進室長、船場総務課長、尾崎財務課長、行政改革推進室職員：草山、七分、高橋、東海、東軒、萩原、高林、京田)
- 7 傍聴者 4名(議員3名、川崎議会事務局長)

8 協議案件

行財政健全化緊急プログラムの進行状況等について

一昨年10月、市が策定した行財政健全化緊急プログラムについて、現時点における進行状況(具体的な改革項目の取り組み状況、数値目標の達成状況)と職種別職員数の状況、氷見市の主な行政サービスのコストの説明があり、委員との質疑応答や意見交換が行われた。

(提出資料)

- ・資料1 行財政健全化緊急プログラムに掲げる具体的な取り組み等の進行状況
- ・資料1-2 同上(概要)
- 1-3 行財政健全化緊急プログラムに掲げる数値目標の状況
- 1-4 職種別職員数の状況
- 1-5 氷見市の主な行政サービスのコスト
- ・資料2 平成17年度氷見市予算編成の基本方針

9 会議録（発言の要旨）

主な発言内容（要旨）	
会長	<p>委員の皆さんには何かとご多用の折、ご出席を頂き感謝申し上げます。</p> <p>行政改革も国、地方を問わず非常に難しいところに入ってきた。三位一体改革も予想どおり非常に厳しいものであった。</p> <p>氷見市は幸いにして行政改革の取り組みが早かったため、行財政健全化緊急プログラムどおり、ほぼ順調に推移していると聞いている。</p> <p>これからの市政運営は非常に厳しいが、能越自動車道の開通や中学生のハンドボールの全国大会が10年間開催されるなど、明るい話題がある。</p> <p>行革も大切であるが、こうしたチャンスを適確に生かしながら、氷見市が活性化するように、メリハリの効いた予算編成をお願いしたい。</p> <p>今日は、平成16年度のプログラムの進行状況等について報告を受け、委員各位の意見を伺いたい。</p>
市長	<p>委員各位には、大変寒い中、そして、多忙のところ、本日の会議に出席してもらい、感謝している。</p> <p>今日は朝から、ともに二十数年間に渡った余川河川改修事業完成式と都市計画道路環状南線街路事業竣工記念式があり、氷見の仕事が一区切りついた大変良き日となった。</p> <p>市では、委員から報告を頂いた提言を踏まえ、一昨年10月に「行財政健全化緊急プログラム」を策定し、諸改革に取り組んできた。</p> <p>今議会まで懸案であった職員の昇格昇給基準の見直しについては、先般「人事評価に基づく昇格基準の下で運用する」ことで、職員労働組合と合意した。</p> <p>職員の削減では、医師・看護師等を除き、平成15年度から平成17年度までの3ヶ年で、退職者90人に対し、採用は12人ととどめ、78人の減員を行った。</p> <p>プログラムに掲げる財政目標の改善目標については、平成16年度は、減債基金の積立を除いて、概ね計画を達成できる見込みである。</p> <p>三位一体改革のなか、今後も厳しい財政環境が続くものと予想されることから、プログラムの目標達成に向け、まずは現プログラムに掲げている改革項目を着実に実施するとともに、新たな改革項目の洗い出しにも取り組んでまいりたい。</p> <p>東小学校をはじめとする6校統合については、各校区の代表者等で構成する6校連絡協議会で、平成18年4月の一斉統合の決定をいただいた。保護者や各校区各位の理解と協力を得て、諸準備に万全を期し、子どもたちの教育環境に支障のないよう、また、地域コミュニティの力が失われることがないよう配慮してまいりたい。</p> <p>会長の話にもあったように、行革も大事であるが、今が新たな氷見に飛躍するチャンスするときでもあると考えている。</p> <p>そういうことから、組織の見直しとして、能越自動車道氷見インターの平成18年度開通を見据え、現在まちづくり戦略会議で推進している北大町地先の埋立地活用事業や、稲積のフォレストフローラルガーデン構想などの市政の重要プロジェクトについて総合的に取り組む「まちづくり推進本部」を新たに設けることとした。行革を進めながら、新たな課題に挑戦していきたい。</p> <p>今日の会議では、プログラムの進行状況等について説明し、皆様から、率直な評価や意見、提言を聞かせ頂きたいので、宜しく願いたい。</p> <p>なお、この懇話会の委員の任期は1年であるが、再任を妨げないこととしているので、皆様方には引き続き市民の代表として協力していただくよう、この</p>

<p>会長 行政改革推進室長 総務課長</p>	<p>場を借りて、お願い申し上げます。 事務局からの資料説明をお願いします。 (資料説明)「資料1 - 2」</p>
	<p>職員給与の適正化の職員の昇格昇給基準の見直し、いわゆる「わたり」の部分について説明申し上げます。 氷見市では1級から9級までの給料表になっているが、今回一番問題になっていた部分は7級から9級であり、普通は管理職や難しい仕事をする係長級の人に適用される。 しかし、本市の場合は、ある程度の年齢に達したとき、具体的には42、43歳になれば自動的に6級から7級にわたっている。 現在7級以上には職員の約半数が既に行ってしまった。団塊の世代が多く、年齢構成が逆ピラミッドになっていることも一つの大きな要因である。 今回、6級から7級にわたるときに、人事評価制度を取り入れることに決定した。具体的には組合ともいろいろ協議することになるが、能力や実績を重視するもので、一所懸命仕事をした人が上へ上がっていく仕組みである。 このことにより、今まで自動的にわたっていたスピードが遅れ、年数はかかるが、将来的には7級以上の職員が減少していくということで、組合にも合意を得た。 病院職員や、現業職員についても一般職と同じように見直すことで、今回決着をした。</p>
<p>財務課長 行政改革推進室長</p>	<p>(資料説明)「資料1 - 3」 (資料説明)「資料1 - 4及び1 - 5」</p>
<p>委員</p>	<p>プログラムの平成19年4月までの65人の削減目標に対し、平成17年4月で56人削減になるということであるが、島尾、鞍川両保育園の廃止及び小学校の統合でどうなるのか？</p>
<p>総務部長 委員</p>	<p>目標を大きく上回る削減数になることは間違いない。 具体的に統合はどのあたりまで進んでいるのか。</p>
<p>助役</p>	<p>新聞等でご存知の方もおられると思うが、3月17日に6校統合の協議会が開催され、来年の4月に統合するという決定をいただいた。 今後は1年かけて、統合に必要な校名、校歌、服等や安全対策を進めていくことにしている。 廃校となるところについては、これまでの歴史をふまえた準備をしていただくことになっている。 新しい学校は、子どもたちが希望を持てる学習環境を整備してまいりたい。 保育所については、鞍川、島尾保育園の廃園を来年計画していたが、鞍川については応募者がいなかったため、今年は休園ということにした。島尾も17年度限りということになる。 その他の保育所については、次世代育成支援の計画に基づき、新年度は民営化に向けた協議を、委員会を設けて進めたい。 そこで民営化の選択基準等について議論していただき、次のステップに入りたい。</p>
<p>委員</p>	<p>プログラムと実際とが、年度を追うごとに、大きく乖離していつている。その都度言い訳があるのかもしれないが、これでは健全化にはならないのではないかと。 何がおかしかったのか。プログラム自身がおかしかったのか。</p>

助役	<p>計画どおり進んでいくことが当然望ましいが、例えば、ごみの有料化については、条例等をようやく今年整備したので、17年度で審議していただくことになっている。</p> <p>手順を積み重ねなければならないものがある。</p> <p>6校統合などは、住民の合意を得ないと進められない。</p> <p>また、国・地方の財政環境が予想以上に厳しくなっている。三位一体改革の影響は大きいものであった。</p> <p>そういう中でも、ここまでようやく計画に近いものになってきた。</p> <p>今後も全力をあげて、未実施項目をしっかりとやっていきたい。</p>
委員	<p>これでは健全化にならないと思う。言い訳でしかない。計画を立てたのだからしっかりやらないといけない。</p> <p>みんなしっかりやるということで納得したはずだ。</p> <p>何故差が出てきたのか。差が大きくなってきている。</p>
会長	<p>15年度は決算、16年度は決算見込みの数字ということであるが、16年度決算が確定していない今の懇話会の開催時期が悪いのか。</p> <p>不用額や入札残などがはっきりし、決算が仕上がった段階での会議開催が望ましいのか。</p>
総務部長	<p>17年度は当初予算なので、混乱を招きかねないという思いは私自身もある。</p> <p>16年度についても、3月補正後の数字である。その後、特別交付税の額が補正後の数字よりも大きいものであることや、市税が見込みより多くなるのが最近になってわかった。</p> <p>決算を見せて議論をしていただくことが本来の姿であると思う。</p> <p>そういった観点で、15年度については、プログラムとの本当の比較ができる。</p> <p>それで、現時点での16、17年度の数字は誤解を招くのもかもしれない。</p> <p>決算だけの比較という方法もあるだろう。お示しする時期を議論していただきたい。</p>
会長	<p>役所では、予算の段階ではどうしても少し多く見込むことになる。一般的には理解し難いかもしれないが、時期は検討することも必要だ。</p>
委員	<p>予算額よりも決算額は必ず少なくなるのか。</p>
総務部長	<p>いくら少なくなるとは申し上げることはできないが、16年度については間違いなく少なくなる。</p>
会長	<p>見込みでやっているのだから、どうしてもそういうことになる。</p>
委員	<p>うまくやれるという自信があればいい。</p>
会長	<p>予定終了時刻となった。</p> <p>今ほどの課題も含め、今後保育所の問題なども大きな問題となってくるだろう。委員の皆様には、まだまだ頑張っていたきたいという思いだ。</p> <p>長時間にわたっての議論に感謝申し上げます</p> <p>本日はこれをもって閉会とする。</p>